

No.	013	—	1026	事務事業名	地域おこし協力隊導入事業							公的関与	8
PLAN	課名	地域活力創出課		係名	地域振興係		電話番号	089-964-4414		メールアドレス	chikaso@city.toon.ehime.jp		
	事業区分	ソフト事業			事業運営方法	直営		実施計画	該当	事業期間	平成 28 年度 ~ 期間設定なし		
	総合計画	政策目標	5 みんなでつくる協働・自立のまち		政策項目	3 地域コミュニティの育成			主要施策	4 コミュニティビジネスの支援			
	事業の目的	地域おこし協力隊を受け入れた地域の集落維持及び活性化と協力隊の定住のため。					根拠法令等	東温市まち・ひと・しごと創生総合戦略					
	事業の手段	地域おこし協力隊の受入れを希望する地域、団体等と調整を図った上で、都市住民へのPR活動等により募集・選考・委嘱し、隊員が円滑に活動できるよう支援します。					掲載計画						
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	最終目標		
		集落維持・活性化に取り組む地区	総合戦略KPI			地区	目標	5	5	5	5		
							実績	4	4				
		地域おこし協力隊設置	総合戦略KPI			人	目標	5	5	5	5		
							実績	7	6				
						目標							
						実績							
活動内容	①	地域おこし協力隊の選考、受入				④							
	②	地域おこし協力隊の起業支援				⑤							
	③												
DO	予算費目	会計	一般会計			費目名	地域振興			費			
	直接事業費		令和 2 年度決算	令和 3 年度決算	令和 4 年度予算	備考							
		国・県支出金	500 千円		500 千円		1,500 千円						
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円						
		その他特定財源	0 千円		0 千円		0 千円						
		一般財源	19,669 千円		20,964 千円		23,889 千円						
	計(A)	20,169 千円		21,464 千円		25,389 千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費	1.882 人	11,676 千円	1.553 人	9,803 千円	1.553 人	9,803 千円					
		臨時職員工数・経費	0.032 人	63 千円	0.032 人	65 千円	0.032 人	65 千円					
	全体事業費(A+B)	31,908 千円		31,331 千円		35,256 千円							
一次評価者	地域振興係	総合評価点	C	必要性	3	有効性	3	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	方法改善
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	人的サポートと将来の定住希望者の呼び込みの面から必要な施策です。導入地区やタイミングに関しては関係者からヒアリングを重ね、ミスマッチを防ぐ必要があります。												
有効性	活性化を望む地区におけるマンパワー不足を補うために有効な制度です。一方では、将来の定住に向けた隊員の意思とサポート体制が両輪で展開する体制を整備する必要があります。												
達成度	今後もニーズに応じて随時募集を行います。												
効率性	事務が煩雑にならないよう適切に処理する必要があります。												
当面の課題	中山間地域における地域運営組織の人的サポートとして協力隊の活動は必要です。また、アート・ヴィレッジとうおん構想推進のためにもアート人材の移住・定住を積極的に推進します。												
改計画	地域運営組織のさらなる自立化に向けて伴走支援を行います。												
二次評価者	地域活力創出課長	総合評価点	C	必要性	3	有効性	2	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項	本市においても、地域おこし協力隊の導入は必要です。さらに、受入先となる地域運営組織、団体などと協議を重ね、導入目的を明確にした綿密な計画作成を行い取り組んでください。												

No.	013	—	1046	事務事業名	市民提案活動支援事業							公的関与	9
PLAN	課名	地域活力創出課	係名	地域振興係	電話番号	089-964-4414		メールアドレス	chikaso@city.toon.ehime.jp				
	事業区分	補助金・負担金・支援		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	平成 28 年度	～	期間設定なし		
	総合計画	政策目標	5 みんなでつくる協働・自立のまち		政策項目	4 市民と行政との協働のまちづくりの推進		主要施策	1 協働のまちづくりの総合的推進				
	事業の目的	市民主体によるまちづくり活動が自立的かつ継続的に実施されるよう支援するため。				根拠法令等	東温市まち・ひと・しごと創生総合戦略						
	事業の手段	制度周知・提案募集・審査を経て、補助金額の決定・交付等を行います。				掲載計画							
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	最終目標			
		市民団体等による事業提案		総合戦略KPI		件/年	目標 4	4	4	4			
							実績 4	7					
							目標						
							実績						
					目標								
DO	活動内容	① 本制度の周知・PR			④								
		② 提案事業のホームページ等による公募			⑤								
		③ 外部有識者等で構成された審査委員による提案事業の評価											
	予算費目	会計	一般会計		費目名	地域振興			費				
	直接事業費			令和 2 年度決算	令和 3 年度決算	令和 4 年度予算	備考						
		国・県支出金		0 千円	0 千円	0 千円							
		地方債		0 千円	0 千円	0 千円							
		その他特定財源		0 千円	0 千円	0 千円							
		一般財源		794 千円	1,836 千円	2,754 千円							
	計(A)		794 千円	1,836 千円	2,754 千円								
人件費(B)	正職員工数・経費	0.324 人	2,010 千円	0.332 人	2,096 千円	0.332 人	2,096 千円						
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)		2,804 千円		3,932 千円		4,850 千円							
一次評価者	地域振興係	総合評価点	C	必要性	1	有効性	2	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	方法改善
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	幅広い事業に活用することができ、一定のニーズが認められる事業です。しかしながら、応募団体構成員や事業内容の硬直化が進んでおり、事業開始当初と比較して住民ニーズが低下してきている印象です。												
有効性	市民と行政が連携したまちづくりを図る仕組みの構築に有効な事業です。一方で、応募団体構成員や事業内容の硬直化が見られ、事業開始当初と比較して有効性はやや下がってきているように感じられます。												
達成度	8件の事業提案を受け、うち7件の採択事業を決定しました。												
効率性	令和3年度からは頑張る中山間地域支援事業を本事業に統合したことにより、効率化が図られました。												
当面の課題	平成28年度の本事業の開始以降に採択された33件の提案活動のうち、約7割がイベント開催事業となっていますが、それらの継続性が乏しいといった状況や、約6割の提案活動における応募団体や構成者の重複傾向が見られはじめたことなどもあり、財政状況の厳しい中であえて実施する必要性や公益性の観点から、本事業の再考が必要な時期となっています。												
改革計画	過去の事業実績に基づく市民ニーズへの対応を再検討し、他の制度や事業との効果的な統合整理を図るなど、市民の方に理解・提案していただきやすい事業への見直しを図ります。												
二次評価者	地域活力創出課長	総合評価点	C	必要性	1	有効性	2	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項	平成28年度から実施され、必要な改善はこれまでも行っていますが、応募団体、その内容などを考えると、改革計画のとおり見直しを行い、真に必要とされる支援事業となるよう努めてください。												

No.	013	—	1047	事務事業名	多世代交流拠点運営管理事業						公的関与	6	
PLAN	課名	地域活力創出課	係名	地域振興係	電話番号	089-964-4414		メールアドレス	chikaso@city.toon.ehime.jp				
	事業区分	施設の維持管理		事業運営方法	一部委託	実施計画	該当	事業期間	平成 28 年度	～	期間設定なし		
	総合計画	政策目標	5 みんなでつくる協働・自立のまち		政策項目	4 市民と行政との協働のまちづくりの推進		主要施策	1 協働のまちづくりの総合的推進				
	事業の目的	高齢者の生きがいがづくり、子どもの居場所、若者、子育て世代の学習機会などを提供し、多世代の交流の促進を図るため。				根拠法令等	東温市まち・ひと・しごと創生総合戦略						
	事業の手段	横河原商店街の空き店舗を活用し整備した「横河原ぷらっとHOME」の施設の運営・管理等を行います。				掲載計画							
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	最終目標			
		施設利用者数		総合戦略KPI		人/年	目標 6,500	6,500	6,500	6,500			
							実績 2,588	2,323					
							目標						
							実績						
					目標								
DO	活動内容	① 多世代交流拠点施設の運営・管理			④								
		② 多世代交流拠点施設内での各種イベント・セミナー等の開催			⑤								
		③ 市民参加型のまちづくり活動の推進											
	予算費目	会計	一般会計		費目名	地域振興		費					
	直接事業費		令和 2 年度決算	令和 3 年度決算	令和 4 年度予算	備考							
		国・県支出金	874 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	24 千円	6 千円	100 千円								
		一般財源	3,657 千円	3,651 千円	3,919 千円								
	計(A)	4,555 千円	3,657 千円	4,019 千円									
人件費(B)	正職員工数・経費	0.497 人	3,083 千円	0.497 人	3,137 千円	0.497 人	3,137 千円						
	臨時職員工数・経費	0.638 人	1,263 千円	0.638 人	1,292 千円	0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)		8,901 千円	8,086 千円	7,156 千円									
一次評価者	地域振興係	総合評価点	B	必要性	3	有効性	4	達成度	2	効率性	1	今後の方向性	民間委託等
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	市内に類似の施設はなく、利用者からは高い評価をいただいています。その反面、利用者数の維持・拡大を図る策を講じる必要があります。												
有効性	市民の交流や市民活動推進の場づくりとして有効な事業です。												
達成度	新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により、利用者数が目標を下回っており、方法改善の検討が必要です。												
効率性	公共性の高い施設ではありますが、まちづくり団体の自主的な活動場所として継続的に維持するため、市民主体の施設利用者協議会による自主財源確保を目指す必要があります。												
当面の課題	利用者増加に向けて、より入りやすい空間づくりが必要です。令和3年度までは一部委託(週3日間の運営委託)により運営していますが、市民活動の場としてより柔軟に利用が進むよう、自主運営に向けた検討を進める必要があります。												
改計画	令和4年度から、多世代交流拠点利用者協議会ekitoに対し、全面委託(週5日間の運営委託)を行います。												
二次評価者	地域活力創出課長	総合評価点	B	必要性	3	有効性	4	達成度	2	効率性	1	今後の方向性	民間委託等
二次評価での指摘事項	当施設の利用方法等を考えた場合、より利用者(市民)の皆さんが活用しやすいものとなる必要があります。また、横河原地域の活性化の拠点の一つとなる運営も必要です。利用者協議会ekitoと連携を密にして取り組んでください。												

No.	013	—	2001	事務事業名	観光振興事業						公的関与	8	
PLAN	課名	地域活力創出課	係名	観光物産係	電話番号	089-964-4414		メールアドレス	chikaso@city.toon.ehime.jp				
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	平成 23 年度	～	期間設定なし		
	総合計画	政策目標	3 創造性と活力に満ちた元気産業のまち		政策項目	3 観光・物産の振興		主要施策	2 イベント等の充実				
	事業の目的	市の認知度向上及び誘客を促進し、地域の活性化を図るため。				根拠法令等							
	事業の手段	PRキャラバンを実施するほか、市内で開催される地域のイベントの運営を補助します。				掲載計画							
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	最終目標			
		PRキャラバン訪問数	訪問機関数		件	目標	20	20	15	15			
						実績	0	6					
		イベント参加者数	イベント補助による成果の指標となるため。		人	目標	2,000	2,500	3,000	55,000			
						実績	1,373	1,539					
観光入込客数		市の認知度及び誘客の成果の指標となるため。		千人	目標	580	630	680	830				
			実績		530	519							
活動内容	①	観光物産、地域振興施策に関して市長によるトップセールスの実施			④								
	②	地域のイベントに対する運営支援及び補助金の交付			⑤								
	③												
予算費目	会計	一般会計			費目名	商工			費				
直接事業費		令和 2 年度決算	令和 3 年度決算	令和 4 年度予算	備考								
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円									
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円									
	その他特定財源	96 千円	74 千円	450 千円									
	一般財源	527 千円	64 千円	1,069 千円									
	計(A)	623 千円	138 千円	1,519 千円									
人件費(B)	正職員工数・経費	0.210 人	1,303 千円	0.217 人	1,370 千円	0.217 人	1,370 千円						
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)		1,926 千円	1,508 千円	2,889 千円									
一次評価者	観光物産係	総合評価点	B	必要性	3	有効性	4	達成度	2	効率性	2	今後の方向性	方法改善
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	本市への誘客促進、地域の活性化につながる事業であるため、必要性は高い一方、事業の実施方法やイベントの運営形態など改善の余地があります。												
有効性	ポストコロナにおいて、観光客数及び交流人口の増加の一助となる施策であると考えます。												
達成度	新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、事業規模を縮小したうえでの開催が求められたため、期待された成果は得られませんでした。												
効率性	新たな企画の検討及び補助事業の活用により、より一層地域でのイベントを充実していく必要があります。併せて、既存事業との統合や他の制度の活用を図り、効率性を高めていく必要があります。												
当面の課題	PRキャラバンについては、他の事業と統合するなど、より効果的に実施できる手段を検討する必要があると考えます。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、地域が主催するイベントの規模縮小が求められる状況となつていますが、賑わいの創出の機会を確保しなければなりません。												
改革計画	PRキャラバンは、「SAKURA select」創出事業との連携を図るなど、観光物産の一体的な事業展開につなげていきます。中山間地域でのイベントの維持及び市の一大イベントであった観月祭に代わるイベントを企画検討し、地域の活性化を図ります。												
二次評価者	地域活力創出課長	総合評価点	B	必要性	3	有効性	4	達成度	2	効率性	2	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項	改革計画欄にもあるとおり、各事務事業を精査し、本事務事業について、より効果的かつ効率的な事業実施に取り組んでください。												

No.	013	—	2030	事務事業名	市観光物産協会補助金						公的関与	9		
PLAN	課名	地域活力創出課	係名	観光物産係	電話番号	089-964-4414		メールアドレス	chikaso@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	補助金・負担金・支援		事業運営方法	補助等	実施計画	非該当	事業期間	平成 17 年度	～	期間設定なし			
	総合計画	政策目標	3 創造性と活力に満ちた元気産業のまち		政策項目	3 観光・物産の振興		主要施策	3 広域観光体制の充実とPR活動等の強化					
	事業の目的	市の観光PR及び物産販売を行い、産業の振興、交流人口拡大による地域活性化を図るため。				根拠法令等	東温市観光物産協会補助金交付要綱							
	事業の手段	一般社団法人東温市観光物産協会に対して補助金を交付します。				掲載計画	第2期東温市まち・ひと・しごと創生総合戦略							
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	最終目標				
		観光物産協会会員数		補助団体の組織機能の強化を図る指標であるため。		人	目標 120	120	120	120				
		観光PR・物産販売回数		新型コロナウイルス感染症の影響により機会が減少したため。		回	目標 140	150	160	160				
							実績 106	104						
							実績 99	99						
					目標									
DO	活動内容	①	補助金の交付			④								
		②				⑤								
		③												
	予算費目	会計	一般会計			費目名	商工			費				
	直接事業費		令和 2 年度決算	令和 3 年度決算	令和 4 年度予算	備考								
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円									
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円									
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円									
		一般財源	9,868 千円	9,550 千円	11,645 千円									
	計(A)	9,868 千円	9,550 千円	11,645 千円										
人件費(B)	正職員工数・経費	0.157 人	974 千円	0.152 人	959 千円	0.152 人	959 千円							
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円							
全体事業費(A+B)		10,842 千円	10,509 千円	12,604 千円										
CHECK・ACTION	一次評価者	観光物産係	総合評価点	B	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	3	今後の方向性	方法改善
	項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
	必要性	ポストコロナにおける地域活性化に資する事業所と認められるため、支援を継続する必要があります。												
	有効性	コロナ禍においても、観光PRや物産販売の継続により、交流人口拡大や販路開拓の成果が認められました。												
	達成度	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、県内外のイベントや物産フェアが中止となり、PRの機会が大幅に減少しました。												
	効率性	人件費の高騰や組織のマンパワー不足の課題を抱えながら自主財源の確保に努めています。今後は、協会会員や交流・協定締結団体等の関係団体と連携した事業展開が求められます。												
	当面の課題	観光物産協会のマンパワー不足、新型コロナウイルス感染症の影響による観光PR及び物産販売の機会の減少など、事業実施に制限がありますが、ポストコロナに向けて積極的な観光施策の推進が求められます。												
	改革計画	観光物産協会の自主事業に関して、ホームページやSNSの連携により周知を図るほか、オンラインショップ、サイクリング及びエコツーリズムの推進などコロナ禍で需要が高まる事業の展開を図ります。												
	二次評価者	地域活力創出課長	総合評価点	B	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	3	今後の方向性	方法改善
	二次評価での指摘事項	地域経済・雇用の確保や地域コミュニティを支えるためには、本市の観光関連産業の復活は急務であり、地方創生においても重要な施策の一つです。感染状況等を踏まえ、注意深く検討を行いながら、観光物産協会を支援し、より連携を密にして、交流人口・関係人口の拡大に努めてください。												

No.	013	—	2039	事務事業名	とうおんツーリズム促進事業						公的関与	8	
PLAN	課名	地域活力創出課	係名	企業振興係	電話番号	089-964-4414		メールアドレス	chikaso@city.toon.ehime.jp				
	事業区分	補助金・負担金・支援		事業運営方法	補助等	実施計画	該当	事業期間	平成 30 年度	～	期間設定なし		
	総合計画	政策目標	3 創造性と活力に満ちた元気産業のまち		政策項目	3 観光・物産の振興		主要施策	1 市内観光ルートの開発				
	事業の目的	本市の地域資源を活用した特色ある観光や広域的な観光を促進し、交流人口の増加を図るため。				根拠法令等	東温市観光バスツアー助成事業助成金交付要綱						
	事業の手段	貸切バスを利用し、本市の観光施設を訪れる団体旅行を催行する旅行者に対し、助成金を交付します。				掲載計画	東温市まち・ひと・しごと創生総合戦略						
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	最終目標			
		当該助成を受けたバスツアー参加者		交流人口の増加を事業目標として設定しているため		人	目標 100	100	150	800			
							実績 65	33					
							目標						
							実績						
					目標								
DO	活動内容	① 旅行者への助成金の交付			④								
		② 県内外旅行者への周知チラシの発送			⑤								
		③ アンケート結果の確認											
	予算費目	会計	一般会計		費目名	商工		費					
	直接事業費			令和 2 年度決算	令和 3 年度決算	令和 4 年度予算		備考					
		国・県支出金		0 千円	0 千円	0 千円							
		地方債		0 千円	0 千円	0 千円							
		その他特定財源		0 千円	0 千円	0 千円							
		一般財源		130 千円	105 千円	1,074 千円							
	計(A)		130 千円	105 千円	1,074 千円								
人件費(B)	正職員工数・経費	0.030 人	186 千円	0.030 人	189 千円	0.030 人	189 千円						
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)		316 千円		294 千円		1,263 千円							
一次評価者	企業振興係	総合評価点	B	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	3	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	本市の観光地や飲食店を訪れる機会の創出を直接的に支援できる本事業の必要性は高いと考えられます。												
有効性	本市の観光地を巡るバスツアーを助成することは、直接的に交流人口の増加に貢献する事業と考えられます。												
達成度	新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりツアーの中止、参加人数が交付要件を満たさない等事業の中止が相次ぎました。												
効率性	バスツアー参加者増加のために、対象事業者にとって制度が利用しやすくなるような工夫(例:補助対象要件の緩和等)について検討の余地があります。												
当面の課題	新型コロナウイルス感染症の影響によりツアーの中止、参加人数が交付要件を満たさない等事業の中止が相次いだことにより、本事業の活用が少なくなっています。												
改革計画	地域周遊型のツアーへの関心の高まりも視野に入れつつ、旅行者以外の業者への本事業の周知に努めます。また、対象事業者にとって利用しやすい事業になるような工夫について事業の趣旨や要綱等を踏まえた上で検討していきます。												
二次評価者	地域活力創出課長	総合評価点	B	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	3	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	本事業は本市への誘客促進を図る上で効果的な事業の一つであると考えています。ポストコロナを見据え、対象となる事業所が利用しやすくなるような内容について検討してください。また、観光物産協会と連携し、本市内での体験メニューの情報発信にも努めてください。												

No.	013	—	2040	事務事業名	とうおんファミリーフェスティバル開催事業						公的関与	8	
PLAN	課名	地域活力創出課	係名	観光物産係	電話番号	089-964-4414	メールアドレス	chikaso@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	全部委託	実施計画	非該当	事業期間	平成 27 年度 ~	期間設定なし			
	総合計画	政策目標	3 創造性と活力に満ちた元気産業のまち		政策項目	3 観光・物産の振興		主要施策	2 イベント等の充実				
	事業の目的	年間を通しての賑わいの創出や交流人口の拡大を図るため。				根拠法令等							
	事業の手段	(一社)東温市観光物産協会に委託し、市内事業所や県内外の交流市町と連携した特色ある観光・物産展「ほっちょ市」を開催します。				掲載計画	第2期東温市まち・ひと・しごと創生総合戦略						
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	最終目標			
		来場者数	直売所、イートイン及び特設レジ通過者数		人	目標	1,500	1,800	2,100	3,000			
						実績	1,353	1,539					
		出店事業所数	市内事業所及び交流市町と連携した特色ある催しとするため。		団体	目標	5	20	50	60			
						実績	4	19					
目標													
実績													
活動内容	① お野菜福袋の販売				④								
	② 市内事業所及び交流市町の出店				⑤								
	③ ワークショップの実施												
予算費目	会計	一般会計			費目名	商工			費				
直接事業費			令和 2 年度決算	令和 3 年度決算	令和 4 年度予算	備考							
	国・県支出金		0 千円	1,021 千円	0 千円								
	地方債		0 千円	0 千円	0 千円								
	その他特定財源		0 千円	0 千円	1,640 千円								
	一般財源		0 千円	1,023 千円	1,640 千円								
	計(A)		0 千円	2,044 千円	3,280 千円								
人件費(B)	正職員工数・経費	0.041 人	254 千円	0.133 人	839 千円	0.133 人	839 千円						
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)		254 千円		2,883 千円		4,119 千円							
一次評価者	観光物産係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	ポストコロナにおいて、交流人口の回復・拡大に向けた本事業を継続的に実施する必要があります。また、新しいイベントの形態を構築し、さらなる賑わいの創出を目指します。												
有効性	市内事業所の認知度及び売上の向上につながるなど、本事業の成果が見られます。												
達成度	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、事業規模を縮小するなど、制限が設けられています。そこで、来場者に安心していただけるよう感染対策を講じ、SNS等でリアルタイムに情報を発信するなど、誘客促進を図る必要があります。												
効率性	助成金等を活用し、支出削減に努めつつ、費用対効果を高めるため、令和4年度からは当該イベント来場者のうち、商品購入者等に対して、ふるさと交流館さくらの湯の入浴割引券を配布するなど、市内施設への誘客につながる仕組みを構築し、相乗効果を図ります。												
当面の課題	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた市内事業所及び生産者の売上向上につながる必要があります。また、年間を通して賑わいの機会を創出するためにも、交流市町との連携を密にし、感染症防止対策を講じながら安全・安心のイベントを継続して実施することで、地域活性化を図る必要があります。												
改革計画	市内事業所の出店を促し、交流人口の拡大につなげていくほか、SNS等を活用することで多くの方に参加いただき、地域活性化を図ります。併せて、さくらの湯観光物産センターとふるさと交流館さくらの湯への誘客促進に寄与する仕組みを構築していきます。												
二次評価者	地域活力創出課長	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	事業実施により、さくらの湯観光物産センター(さくらの湯含)が、これまでよりも地域活性化の拠点として認知され、地域の発展に繋がるように、協会、市内事業所と連携して実施するとともに、さらに他市町との連携強化により、魅力ある事業となるように努めてください。												

No.	013	—	3041	事務事業名	とうおん健康医療創生事業						公的関与	8	
PLAN	課名	地域活力創出課	係名	企業振興係	電話番号	089-964-4414		メールアドレス	chikaso@city.toon.ehime.jp				
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	一部委託	実施計画	該当	事業期間	平成 27 年度	～	期間設定なし		
	総合計画	政策目標	3 創造性と活力に満ちた元気産業のまち		政策項目	2 商工業の振興		主要施策	5 愛媛大学医学部を核とした全学部と市内企業との連携				
	事業の目的	東温市における「ものづくり産業の創生」及び「ヘルスケア産業の創生」のため。				根拠法令等	東温市中小零細企業振興基本条例						
	事業の手段	市、市内中小零細企業、愛媛大学及び愛媛大学医学部附属病院が連携して、健康・医療を主とした連携事業に取り組みます。				掲載計画	第2期東温市まち・ひと・しごと創生総合戦略						
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	最終目標			
		ものづくり産業・ヘルスケア産業に係る取組事業数		新たな産業の創生には多くの取組が必要であるため		事業	目標	8	9	10	10		
		さくらの湯ランチ体験者数		多くの市民に健康に対する意識を持ってもらうため		人	目標	100	100	100	100		
		いのどん健康ナビ(健康づくり支援システム)登録者数		中小零細企業において健康経営に向けた意識を持ってもらうため		人	目標	300	300	300	300		
							実績	8	9				
					実績	56	63						
活動内容	① 健康医療創生研究会の開催				④	いのどん健康ナビ(健康づくり支援システム)の提供							
	② 本事業に関する協議・周知等に係る企業訪問				⑤	医学部と市内中小零細企業が連携した健康医療創生事業に対する補助							
	③ さくらの湯ランチの実施												
予算費目	会計	一般会計			費目名	商工			費				
直接事業費			令和 2 年度決算	令和 3 年度決算	令和 4 年度予算	備考							
	国・県支出金		0 千円	0 千円	0 千円								
	地方債		0 千円	0 千円	0 千円								
	その他特定財源		0 千円	0 千円	0 千円								
	一般財源		4,137 千円	4,757 千円	1,617 千円								
	計(A)		4,137 千円	4,757 千円	1,617 千円								
人件費(B)	正職員工数・経費	0.298 人	1,849 千円	0.337 人	2,127 千円	0.320 人	2,020 千円						
	臨時職員工数・経費	0.066 人	131 千円	0.083 人	168 千円	0.083 人	168 千円						
全体事業費(A+B)		6,116 千円		7,052 千円		3,805 千円							
一次評価者	企業振興係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明(一次評価者のコメント)												
必要性	愛媛大学医学部を中心に市内中小零細企業との連携体制が整っており、市長の公約の『健康日本一のまちづくり』を実現するために必要な事業です。												
有効性	市内中小零細企業の発展、地域経済の活性化が期待できます。また、さくらの湯ランチの実施により、他の温浴施設との差別化が図れ、健康増進施設として表彰を受賞しました。												
達成度	ものづくり産業では、医学部と市内中小零細企業が連携した商品・サービスの開発、ヘルスケア産業では、もち麦レシピやヘルスツーリズムPR動画の作成などの実績があります。												
効率性	愛媛大学医学部を中心に、市内中小零細企業と連携を図ることにより、市単独ではできない取組が可能となります。												
当面の課題	令和2年度まで愛媛大学に委託していた予算の一部を補助事業に切り替え、令和3年度は2件の補助事業を実施しましたが、令和4年4月に愛媛大学地域協働センター中予東温が開設されたことにより、連携して健康医療創生事業を推進していくことが必要となっています。また、いのどん健康ナビを令和2年度に改修し、令和3年度から登録者を再募集していますが、コロナ禍により企業への募集活動が制限され、登録数が減少しています。												
改革計画	令和4年度から補助事業を愛媛大学地域協働センター中予東温を拠点とした市内中小零細企業との連携事業を対象として別事業化し、センターを拠点とした連携の活性化を図りつつ、健康医療創生事業に関する事業も推進します。												
二次評価者	地域活力創出課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項	愛媛大学地域協働センター中予東温が開設されたことから、本事業の目的を達成するためにも、これを有効活用できるように情報収集に努め、連携強化を図ってください。また、本事業を推進していくためには、健康推進課をはじめとした全庁的な取組が必要となっており、愛媛大学医学部と協議を行い、本事業のよりよい在り方について検討してください。												

No.	013	—	3043	事務事業名	中小零細企業まるごと応援補助金						公的関与	9	
PLAN	課名	地域活力創出課	係名	企業振興係	電話番号	089-964-4414		メールアドレス	chikaso@city.toon.ehime.jp				
	事業区分	補助金・負担金・支援		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	令和3年度	～	令和6年度		
	総合計画	政策目標	3 創造性と活力に満ちた元気産業のまち		政策項目	2 商工業の振興		主要施策	3 産業支援・研究開発体制の整備				
	事業の目的	市内中小零細企業の発展や地域経済の活性化のため。				根拠法令等	東温市中小零細企業振興基本条例						
	事業の手段	中小零細企業が実施する様々な取組に対して補助します。				掲載計画	第2期東温市まち・ひと・しごと総合戦略						
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	最終目標			
		補助件数	多くの中小零細企業に利用いただくことが必要であるため。		件	目標	—	30	30	30			
						実績	—	36					
		補助金額	予算上限額に応じ、最大限活用することが必要であるため。		千円	目標	—	5,000	6,000	6,000			
						実績	—	4,688					
					目標	—							
					実績	—							
活動内容	①	団体を通じた中小零細企業への周知			④								
	②	中小零細企業からの申請受付			⑤								
	③												
予算費目	会計	一般会計			費目名	商工			費				
直接事業費			令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	備考							
	国・県支出金		0千円	0千円	0千円								
	地方債		0千円	0千円	0千円								
	その他特定財源		0千円	0千円	0千円								
	一般財源		0千円	4,688千円	6,000千円								
計(A)		0千円	4,688千円	6,000千円									
人件費(B)	正職員工数・経費	0.000人	0千円	0.405人	2,556千円	0.563人	3,554千円						
	臨時職員工数・経費	0.000人	0千円	0.000人	0千円	0.000人	0千円						
全体事業費(A+B)		0千円		7,244千円		9,554千円							
一次評価者	企業振興係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	市内中小零細企業の地域資源や地域の特性を生かした商品やサービスに係る取組などにも繋がる事業であり、市内中小零細企業からのニーズも高くなっています。												
有効性	市内中小零細企業の様々な課題に対し、支援を行う補助メニューとなっており、成果が期待できます。												
達成度	令和3年度は6月中に補助申請額が予算額に達し、目標件数を上回りました。												
効率性	市商工会等関係団体と連携して、広く中小零細企業に周知し支援に繋がっています。申請手続の電子化等による効率化などを検討する余地はあります。												
当面の課題	新型コロナウイルス感染症等の社会情勢の大きな変化の中で、中小零細企業を取り巻く環境は厳しくなっており、補助金の活用に対する中小零細企業の意欲やニーズが変化していく可能性があります。												
改革計画	令和4年度に実施する中小零細企業現状把握調査の結果等の活用や関係団体等との連携を図りながら、市内中小零細企業のニーズ把握に努め、支援メニューを最適化します。												
二次評価者	地域活力創出課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	現状把握調査結果の分析、さらに、本事業を活用した事業所のヒアリング等も行い、中小零細企業のニーズを適切に把握し、真に必要なとされる支援メニューの検討を行ってください。												

No.	013	—	3046	事務事業名	包括連携協定締結関係事務						公的関与	8	
PLAN	課名	地域活力創出課	係名	企業振興係	電話番号	089-964-4414		メールアドレス	chikaso@city.toon.ehime.jp				
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	年度 ~ 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	3 創造性と活力に満ちた元気産業のまち		政策項目	2 商工業の振興		主要施策	3 産業支援・研究開発体制の整備				
	事業の目的	中小零細企業による地域経済の活性化のため。				根拠法令等	中小零細企業振興基本条例						
	事業の手段	事業者、経済団体、学校、金融機関等と包括連携協定を締結し、連携強化を図ります。				掲載計画							
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	最終目標			
		包括連携協定の締結		協定の締結により連携事業を促進するため		件	目標	1	1	1			
		協定に基づく連携団体数		継続した連携の取組を実施するため		件	実績	1					
							目標	12	13	14			
							実績	12					
					目標								
DO	活動内容	① 協定希望団体との調整、協議			④								
		② 協定締結式の開催			⑤								
		③ 連携した取組の実施											
	予算費目	会計	一般会計			費目名	商工			費			
	直接事業費		令和 2 年度決算	令和 3 年度決算	令和 4 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	令和2年度事務事業の登録なし							
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	0 千円	0 千円	0 千円								
	人件費(B)	計(A)	0 千円	0 千円	0 千円								
正職員工数・経費		0.000 人	0 千円	0.132 人	833 千円	0.132 人	833 千円						
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)		0 千円		833 千円		833 千円							
一次評価者	企業振興係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	包括連携協定締結団体の技術や人材、ネットワークを活用することにより、市単独ではできない事業展開が期待されています。DXや産業のグローバル化により、市外協定団体と連携した取組が重要となっています。												
有効性	協定先との綿密な協議のうえ、協定後、連携した取組が期待される協定についてのみ協定を締結しています。												
達成度	コロナ禍において、連携イベント等の実施が難しい状況でしたが、協定先との関係を維持し、連携して商品開発や販路拡大等の取組を実施しています。												
効率性	協定締結式におけるメディア等への宣伝効果も活用し、他の事業とも連携しながら取組を効率的に実施しています。												
当面の課題	包括連携協定について担当課が定められていないため、連携する取組の内容が担当外である場合があります。主要な課において協定を締結する若しくは、総務(企画政策)部門での取りまとめを行うなど、柔軟な対応が必要です。												
改計画	今後の包括連携協定の取扱いについて、今後の方針を企画政策課と協議します。												
二次評価者	地域活力創出課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項	包括連携協定とは、様々な分野にわたり、パブリックマインドのある企業等との緊密な相互連携と協働によって市民サービスの向上を図るとともに、地域の活性化等を推進することを目的とする協定であることから、本課が所管する業務以外の内容が多く含まれます。本市の多岐にわたる分野への取組となるように、企画政策課との協議に取り組んでください。												